

事前質問・意見

質問者氏名	質問・意見	回答
<p>一関市地域婦人団体協議会 連合会会長 菅原 悦子 様</p>	<p>初めての協議委員で無知ですが、身内が県立病院に従事していることで感じたことを書きます。 3才と1才の子育をしながら磐井病院の看護師として働いています。育児休暇、時短勤務、また子供の体調が悪い時など心良く休暇を許可して頂ける。子育てしながら仕事が続けられる環境で、安心して働けると話していました。家族としても有難いことと感謝しています。病院運営に大切な制度の一つだと思います。</p>	<p>岩手県医療局においては、産休後の育児休業や育児短時間勤務、小学校就学の始期に達するまでの子の養育のため1日の勤務時間の一部（2時間以内）について勤務しない部分休業の制度があります。 また、15歳に達する年度末までの養育する子の看護には、年5日（2人以上の場合にあっては10日）の範囲内で特別休暇を取得できる制度等があります。 この他にも色々な休暇制度や福利厚生制度があり、職員が働きやすい環境を整えているところです。</p>
<p>千厩町女性団体連絡協議会長 館澤 敏子 様</p>	<p>コロナ以後、いろんな感染症が聞こえます。ますます、医療関係に関わっている方々には、多忙な日々かと頭の下がる思いです。今後もよろしくお願いします。</p>	<p>病院基本理念である「地域と連動し、患者さん中心の、質の高い、安全な医療を提供します。」のもと、地域から愛される病院を目指して参りますので、今後とも住民の皆様のご協力をお願いいたします。</p>
<p>平泉町地域婦人団体協議会理事 小野寺 祐子 様</p>	<p>私は、数年前に入院した事があり、回診の際に感じたことがあります。 院長先生始め、担当医の方ほか数名での回診は、とても威圧感がありましたし、大変緊張した事を覚えています。 患者1人1人の状態や治療方針を決める上で、とても大切な一つの仕事だとは思いますが、患者自身が安心できる様な雰囲気作りも大切の様に感じました。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 院長はじめ大人数での回診に威圧感を感じたということで、まずはお詫び申し上げます。 昨今の「医師の働き方改革」があり、以前の主治医制から、何人かのチームでの診療を行うチーム制での取り組みが進み、チーム全員で患者さんの状態を把握することが推奨されています。これによって、チームの誰でも患者さんに対応可能とすることを目的とし、主治医制では1人の医師にかかる負担が大きかったものを、全員でシェアするというのが推奨されているため、どうしても回診の人数も増えてしまうことは避けられません。 しかしながら、回診時の処置、聞き取り、病状説明など、各医師におきましては、患者さんの気持ちに寄り添った対応を心がけ、安心して入院していただける雰囲気作りに努めるよう指導していきたいと思っておりますので、ご理解をお願いいたします。</p>
<p>岩手県立南光病院家族会会長 小山 峯雄 様</p>	<p>今日は行政機関の方々も参加いただいておりますので、一緒に聞いて頂ければ幸いです。患者の症状は、多種であり入院生活もその症状で決まると思っています。退院に向けて病院で関係担当と話し合いますが。 1 病院から退院後⇒世の中の、家族体系の現状は8050時代（高齢化）の家族が多く家族の負担が多く困っている状況です。⇒病院、病院相談室と市福祉課と退院後の本人、家族が地域の福祉利用への具体的提案無く困っているのので「退院促進会議」で家族支援体制の道筋を具体的にお願ひしたい。 2 病院退院後の家族支援等について、病院と両磐地域の福祉関係者及び福祉施設関係者との連絡協議会（仮称）等が開催されているのかお聞きしたいと思います。</p>	<p>1 南光病院における入院患者さんの退院支援については、法令で定める医療保護入院者退院支援委員会を始め、介護や障がい福祉関係者との連携カンファレンスなどを行っており、必要に応じ、ケアマネージャーや相談支援専門員、保健師などにも参加いただいております。 基本的には、患者さんの意思に基づいた退院後支援が必要であり取り組んでいるところですが、患者さんやご家族の理解がないと福祉サービスなどの導入に結びつかないこともあり、引き続き、関係機関等との連携強化により取り組んで参ります。 2 平成元年10月より、一関保健所、一関市、平泉町、障害者総合支援法下の関連施設等及び南光病院で構成する「両磐精神医療連絡会」が設置されており、「一関市・平泉町における精神障がい者の保健・医療・福祉に関して関係機関が連携を持ち、社会復帰・参加の促進、地域保健の充実を図ることにより、回復への援助を行うこと」を目的として、年3回の会議が開催されております。</p>